

インターペット ～人とペットの豊かな暮らしフェア～ 開催される

令和5年3月30日(木)～4月2日(日)までの4日間、東京ビッグサイトにおいて、ペットフード協会、日本ペット用品工業会及びメッセフランクフルトジャパン(株)主催による「第12回インターペット ～人とペットの豊かな暮らしフェア～」が開催された。

新型コロナウイルス対策が施された会場には、4日間で来場者62,234人、犬や猫等のペット44,069頭が飼い主とともに訪れ、会場は大いに賑わった。本会として9回目の参加となる今回は、ブース出展、本会主催ステージ企画及びアリーナにおけるキッズ獣医師体験を実施した。以下に概要を報告する。

3月31日には、会場内の特設ステージにて行われた、2つの企画に本会役員が参加した。会期の冒頭を飾るオープニングプログラムとしてビジネスフォーラム①「主なペット産業分野における将来展望」では、(一社)人とペットの幸せ創造協会の越村義雄会長の進行のもと、本会酒井顧問、(一社)全国ペットフード・用品卸商協会の高橋一彦代表理事会長(エコートレーディング(株)代表取締役会長)、(株)イオンペットの米津一郎代表取締役社長が登壇して、ペット産業の現状と将来についてのパネルディスカッションが行われた。

続いて、(一社)人とペットの幸せ創造協会の越村義雄会長の進行のもと、②「人口減少・飼育頭数減少に産業界ができること」が開催され、本会村中副会長、(株)ペッツファーストの正宗伸麻代表取締役社長、(一社)ペットフード協会の児玉博充会長により将来に向けた人とペットのよりよい暮らしについて考えるパネルディスカッションが行われた。

翌日4月1日(土)には、本会主催のステージ企画と

アリーナ企画であるキッズ獣医師体験が行われた。会場内の特設ステージでは、本会主催のステージ企画「動物病院が変わる！愛玩動物看護師の誕生とチーム獣医療への期待」が開催された。

本会村中副会長を座長・進行役として、今年4月に誕生した国家資格「愛玩動物看護師」について、(一社)日本動物看護職協会の横田淳子会長、世田谷区の成城こばやし動物病院の小路広子愛玩動物看護師によるパネルディスカッションが行われた。

愛玩動物看護師の国家資格化に尽力した横田淳子会長からは、国家資格化までの取組と、今後のチーム獣医療の展望についての講演が行われた。また、小路広子愛玩動物看護師からは、現役の動物看護師の立場から、愛玩動物看護師の仕事内容や資格化による業務の変化が紹介され、「チーム獣医療の一員として、獣医師、飼い主、そして動物たちに信頼される愛玩動物看護師を目指したい。」との決意が語られた。

「キッズ獣医師体験」では、東京都獣医師会、SJD ドッググルーミングスクール及び獣医学生協会(JAVS)の協力により、子どもたちを対象とした動物診療の模擬体験企画を開催し、55名の参加者が小動物診療獣医師の仕事の雰囲気を感じた。

出展ブースでは、本年11月23日に上野恩賜公園不忍池周辺で開催される「2023動物感謝デー in JAPAN World Veterinary Day」及び平成28年3月から運用を開始した「女性獣医師応援ポータルサイト」に関する展示のほか、日本獣医師会の活動紹介、関連グッズの配布を行った。本会では、今後ともさまざまなイベント等を通じ、市民向けの普及推進活動を行うこととしている。



図1 ビジネスフォーラム「主なペット産業分野における将来展望」で講演する酒井顧問



図2 ビジネスフォーラム「人口減少・飼育頭数減少に産業界ができること」で講演する村中副会長



図3 ビジネスフォーラムを聴講する来場者

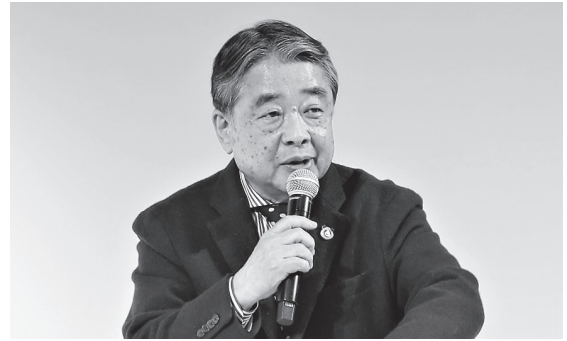


図4 本会主催のステージ企画「動物病院が変わる！愛玩動物看護師の誕生とチーム獣医療への期待」で司会進行を務める村中副会長



図5 講演する日本動物看護職協会の横田淳子会長



図6 講演する成城こばやし動物病院の小路広子愛玩動物看護師

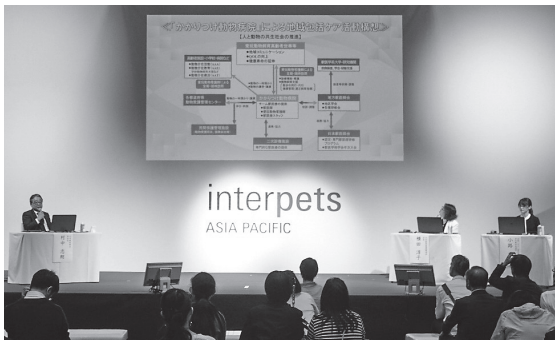


図7 「動物病院が変わる！愛玩動物看護師の誕生とチーム獣医療への期待」ステージ風景



図8 キッズ獣医師体験で犬の心音を聴く児童



図9 キッズ獣医師体験にご協力いただいた東京都獣医師会会員獣医師と日本獣医学学生協会（JAVS）スタッフ